

道徳科学習指導案 小学校～家族の幸せを願い生きる道徳科授業～

本時の指導

(1) ねらい

家族の幸せのために大切なことを考え、自ら進んで役に立とうとする心情を育てる。

(2) 本時の展開

	学習活動（主な発問と予想される児童の意識）	指導上の留意点
<p>導入 5分</p>	<p>1. 家族とのかかわりについて知る。 T: 家族とのかかわりの中で、「ゆるせない!」と思うことはありますか。次の4つからひとつ選びましょう。</p> <p>【選択肢集計】</p>  <p>1. 言ったことを覚えていない 2. ときどきボーッと話を聞いてくれない 3. イライラをぶつけられる 4. やっていないことを疑われる</p> <p>○クラスの集計結果から考える。 ・覚えていないってことは適当に聞いているってこと。 ・やっていないのに疑うことは家族でも失礼。 ・イライラをぶつけられることがよくある。</p> <p>2. 本時の課題を捉える T: 「認知症」という病気を知っていますか。 実はこういった症状で悩んでいる人がいます。</p> <p>【エーザイ様のスライド】</p> 	<p>・実態に応じて、いきなり否定的な話から入るのではなく、家族の楽しい部分から触れてもよい。 (家族構成等に配慮が必要な児童がいる場合は注意する)</p> <p>【オクリンクプラス操作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択肢集計のカードを設定する。 ・ 集計を表示する。 ・ クラスの傾向を視覚化する。 <p>・ 日常生活の中で起きうる場面であることを捉える。</p> <p>・ 症状＝認知症といういたずらな理解とならないように資料を扱う。</p> <p>・ 「病気」であることで、自己の心情に変化が生まれることに気づかせる。</p> <p>・ 症状やかかわり方について、理解が不十分であることを捉え、本時の課題へとつなげる。</p> <p>・ 「認知症」の人とのかかわり方ではなく、それらを含めた家族の幸せについての学習とする。</p>

T: また、認知症と分らなかつたり、認知症でなかつたりしても、同じように困っている人がいます。家族にこのような症状が見られたとき、先ほどと同じように許せないですか。

- ・病気なら仕方ない。
- ・許してあげるべき。
- ・むしろ助けてあげるべき。
- ・我慢しなければいけない。

補: みんなが我慢することは幸せになりますか?

T: 家族みんなですぐに生きていくためのヒントを、みんなで考えていきましょう。

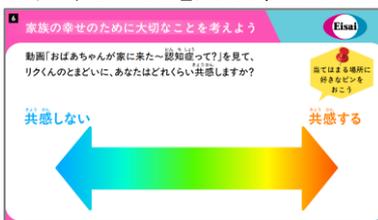
家族みんなですぐに生きるために大切なことは?

3. 動画教材を視聴して考える



① (～4:10まで視聴して、一度停止)

T: おばあちゃんに対するリクの戸惑いに、どれくらい共感しますか?



(共感する)

- ・好きだったおばあちゃんに間違えられたら悲しい。
- ・病気だと知らなかったら怒っちゃう。

(共感しない)

- ・わざとじゃないなら仕方ない。
- ・これくらいのことじゃ怒らない。

② (再生し、～13:00まで視聴して、一度停止)

T: おばあちゃんが認知症だと知ったとき、リクはどんな気持ちかな?

- ・おばあちゃん、わざとじゃなかったんだ。
- ・仕方ないことだったんだなあ。
- ・それでも悲しい。

補: 病気じゃなければ、気持ちは変わらないですか?

③ (～最後まで視聴)

【オクリンクプラス操作】

- ・視聴前に、スライド1で簡単に人物紹介をしてから、動画視聴に入るとよい。
- ・先生用スライドの動画リンクからモニター等に投影して視聴。
- ・ピン集計のカードを設定する。
- ・集計を表示する。
- ・クラスの傾向を視覚化する。

※時間の都合によっては、ピン集計ではなく口頭でもよい。

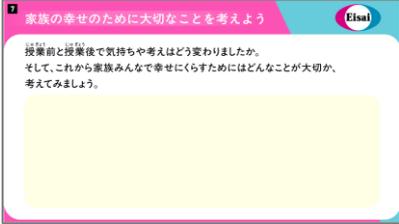
・「認知症」を知る前であることを押さえ、登場人物の心情に寄り添えるようにする。

・病気か否かに関係なく、家族として寄り添う児童の姿についても価値付けをする。

・「病気だったら仕方ない」という考えに偏ってしまわないよう、必要に応じて補助発問をいれ、「困り感をもっている家族」に寄り添う心情を育めるようにする。

・「病気だから」という視点はもたせず、「困り感」をもっているという範囲で意見が出せるようにする。

展開
30分

<p>終末 10分</p>	<p>4. <u>家族の幸せについて考える。</u> T: 授業前と授業後で気持ちや考えはどう変わりましたか。 <u>そして、これから家族みんなで幸せに過ごすためにはどんなことが大切か、考えてみましょう。</u></p> <p>カード提出</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・家族が困っていたら、病気に関係なく助ける。 ・嫌なことがあってもすぐに怒らず、相手を分かろうとする努力をする。 ・家族みんなが幸せに過ごせるように寄り添い合って生活する。 <p>5. <u>全体で話し合い、共有する。</u></p> <p>6. <u>ゲストティーチャーの説話を聞く。(動画)</u> 内藤様の動画</p> 	<p>【オクリンクプラス操作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライド7のカードを配布 ・みんなの広場でタブを作る。(可視化しない場合は提出BOX) ・キーワード集計機能によるテキスト分析(必要に応じて) <p>◆家族の幸せのために必要なことや、気持ちについて考えている。(発言・カード)</p> <p>【オクリンクプラス操作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライド8の動画リンクからモニター等に投影して視聴。 ・メッセージ動画(約4分)のあとに、家族の幸せを考える約2分の特別動画が入っているが、視聴については授業時間に合わせて調整可。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療的な側面から、家族の幸せに向けた具体的な行動について視点が生まれるようにする。
<p>最後に</p>	<p>7. <u>「家族の幸せ発見カード」を配布する。</u> T: 家にカードを持ち帰って、家族で幸せにいらしていくために頑張りたいことを、おうちの人と話してカードに記入しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「家族の幸せ発見カード」をあらかじめダウンロードして、配布数分、印刷しておく。 ・一時的な学びとにならないよう、継続的に取り組める学習へとつなげる。 <p>◆家族の幸せを願い、自己にできることを進んで見つけようとしている。(家族の幸せ発見カード)</p>

(3) 評価の視点(道徳科における児童の学習状況及び成長の様子についての評価)

- ・家族の幸せのために必要なことや、気持ちについて考えている。(発言・カード)
- ・家族の幸せを願い、自己にできることを進んで見つけようとしている。(家族の幸せ発見カード)

家族の幸せ発見カード ～めざせ！優しい名探偵～

Eisai

家族で幸せにいらしていくためには、あなたが「優しい名探偵」になって、
毎日の中でさまざまな「発見」をすることが大切。

家族のためにどんな発見ができるかな？

おうちの人と話し合ってみましょう。追加して書いてもOK！



年 組 名探偵



「ありがとう」をたくさん見つけよう。

家族に支えられていることに感謝して、言葉で「ありがとう」を伝えましょう。
あなたの「ありがとう」が、家族みんなを元気で笑顔にします。



「感動すること」を一緒に見つけよう。

楽しい！きれい！おいしい！など、感動することを家族と分かち合しましょう。
一緒に出かけて、たくさん感動を探しに行くのもおすすめ！



「自分にできること」を見つけよう。

家族の中で自分には何ができるかな？どんな役に立てるかな？を考えて、取り組んでみましょう。
あなたの成長をみんなが喜んでくれるはずです。



「困っているかも？」を見逃さない。

家族が年をとるにつれて、できないことが増えてくるかもしれません。
その時こそあなたの出番。助け合って乗りこえましょう。



「いつもとちがうかも？」を見逃さない。

家族の健康を守るため、「元気がない」「何度も同じことを聞く」「いつもできていたことができなくなる」など、
家族の小さな変化に気づいてあげてください。



作成年月：2026年2月